

# AO・推薦入試!ULTRA攻略法

## 志望理由書・自己推薦書対策

### 第1講

## 【ULTRAでまとめる志願書】

Career Development Adviser

(厚生労働省指定キャリア・コンサルタント)

クロイワ 正一

# 著書など

- 著書(大学受験参考書)
    - 『志望理由書の模範的書き方』(ライオン社)
    - 『面接試験での模範的答え方』(ライオン社)
    - 『クロイワの楽勝！小論文』(KKロングセラーズ)
    - 『看護医療系小論文！超攻略法』(KKロングセラーズ)
    - 『看護医療職への進学&就職ガイド』(KKロングセラーズ)
    - 『推薦・AO入試！超マニュアル』(KKロングセラーズ)
    - 『推薦・AO入試のための小論文＋面接』(実教出版)
    - 『新しい入試 AO入試』(VHS教材、一橋出版)
    - 『学問の探求』(受験生援護センター)
    - 『面接の極意』(映像教材、新・学カアップシステム@will)
    - 『トップレベル小論文(人文・経済・法)』(映像教材、同)
    - 『ココでカセぐ電光石火！AO・推薦入試』(ブックマン社)
- ほか多数

# AO・推薦入試の手段!

- 出願時に「夢」と「夢実現への意欲」を書く!
  - 志望理由書、自己推薦書.....
- 筆記試験として「あなたの意見」を書く!
  - 小論文、作文.....
- 面接試験で「夢」や「意欲」を語る!
  - 個別面接、集合面接、グループディスカッション

# 志望理由書・自己推薦書とは？

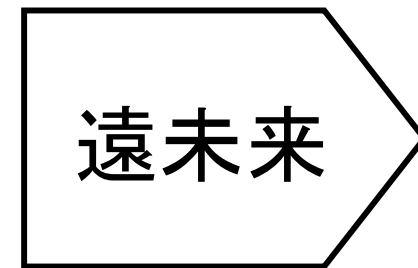
- 志望理由書、自己推薦書に盛り込む内容
  - 将来(大学卒業後)の夢.....遠未来
  - 大学で学びたいこと.....近未来
  - なぜ夢を抱いたのか、その理由.....過去・現在



問題意識・興味



学びたいこと



就きたい仕事

# 志望理由書と自己推薦書の違い

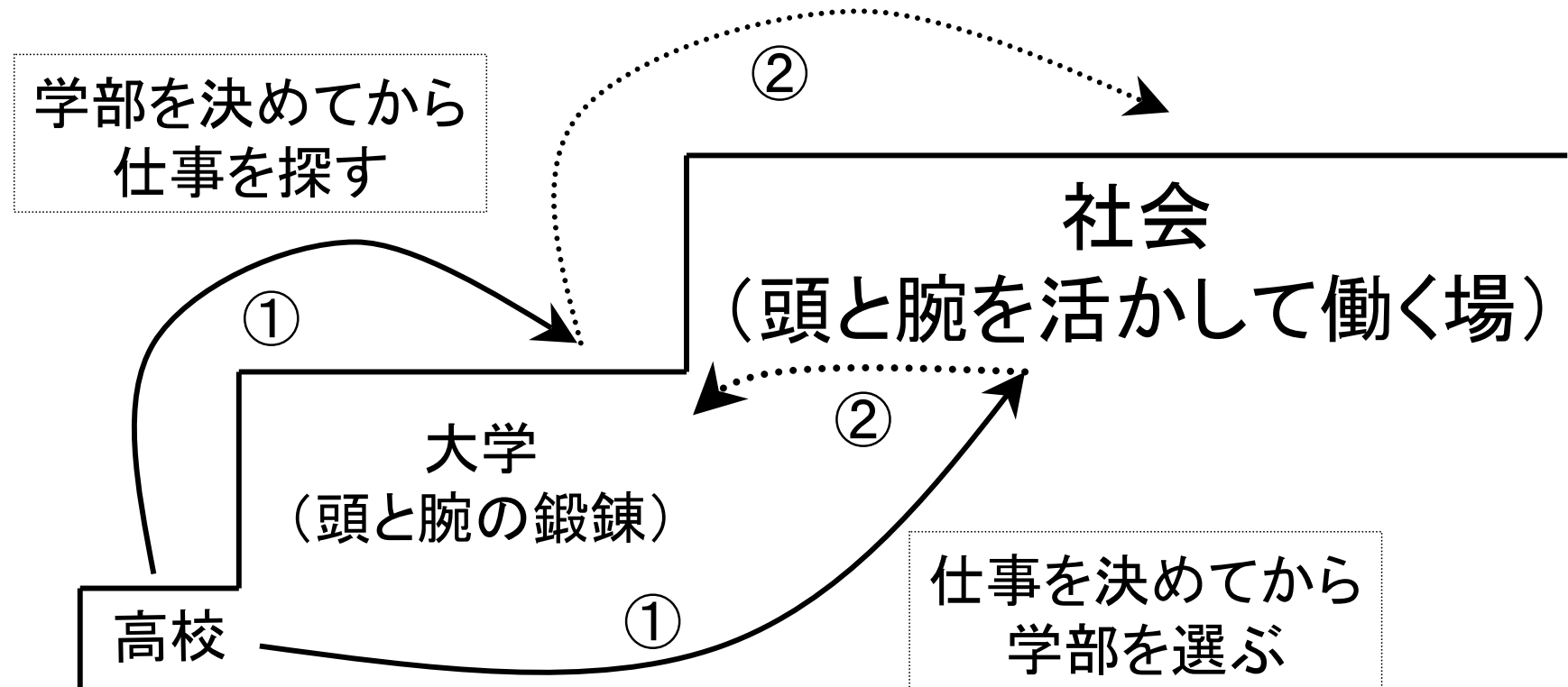
- 「志望理由書＋自己推薦書」を求める場合
  - 志望理由書に盛り込む内容
    - 未来を中心に.....
      - 私は、貴学で.....を学びたい。そして、卒業後は.....と  
いった道に進みたい.....(近未来＋遠未来)
  - 自己推薦書に盛り込む内容
    - 過去・現在を中心に.....
      - 私が貴学での学びを望むのは、現在.....問題意識、知的  
好奇心を持っているからだ。こうした問題意識を抱い  
てきたのは.....経験があるからだ(過去・現在)

# ULTRAでまとめる志望理由書

- Understand (理解)
  - 大学、社会、自分の資質を理解する
- Logic (論理)
  - 自分と大学を結びつける
- Trimming (整理)
  - 読みやすい構成へと整理する
- Action (表現)
  - 指定字数に従って正確な表記で書く

# 未来を探る2つのルート

- 遠未来(仕事)と近未来(学問・技術)



# 大学・学部の情報収集

- 大学・学部が備えているソフトウェア
  - 教育カリキュラム
  - 制度など.....
- 大学・学部が備えているハードウェア
  - 自然環境
  - 通学環境
  - 設備、施設など.....
- 大学・学部が備えているヒューマンウェア
  - 教官（研究内容、研究業績）
  - キャリアセンター（就職支援スタッフ）など.....<sup>8</sup>.....

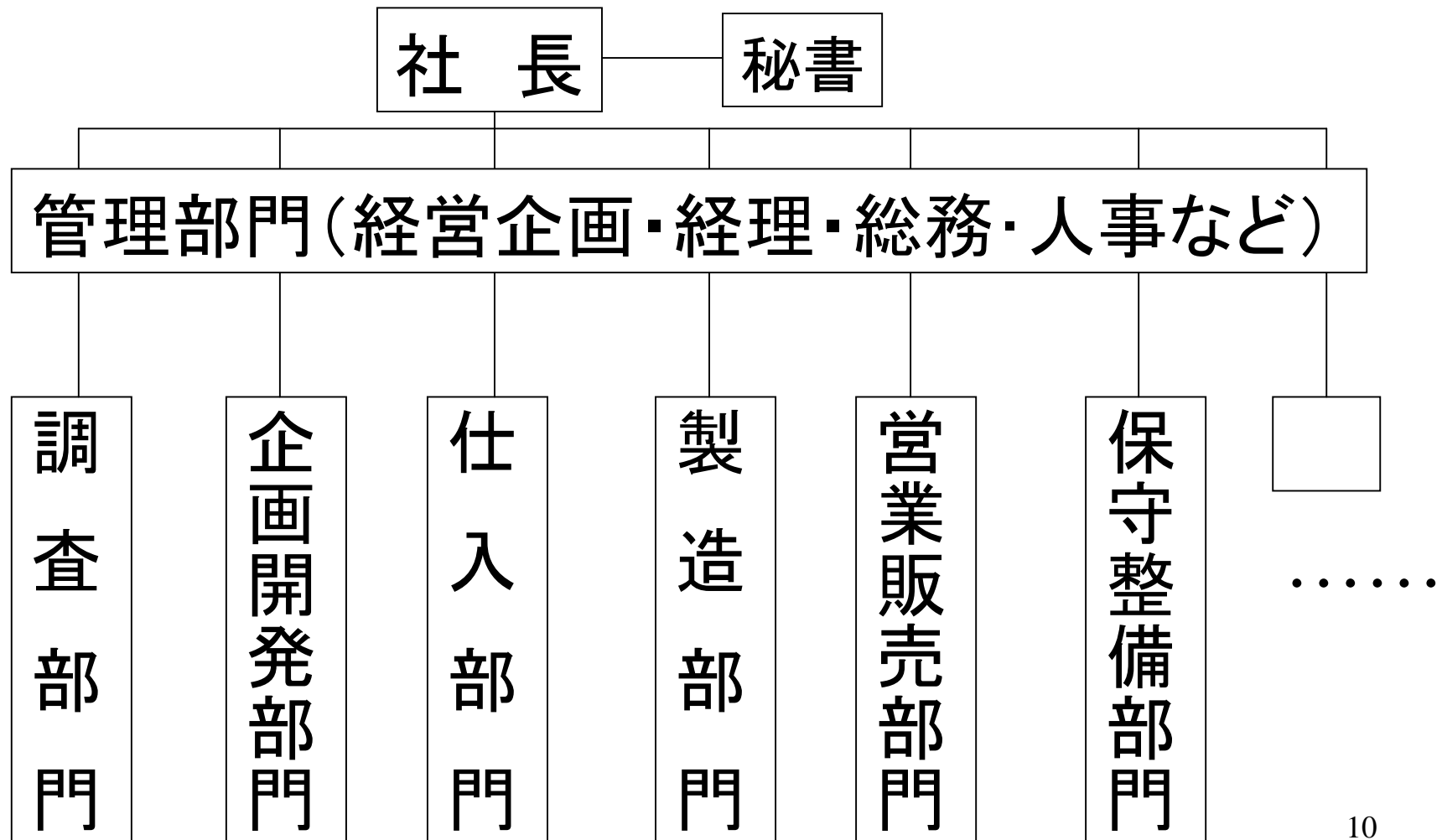


# 社会の理解（業種）

第1次産業	自然相手の仕事。農産物、畜産物、水産資源や鉱物など、「ものを自然から採取する」仕事。⇒ 農業・畜産業、林業・鉱業、その他		
第2次産業	天然資源を加工して「ものをつくる」仕事。一般に「メーカー」と呼ばれる。⇒ エネルギー、鉄鋼、建材、製紙、服飾、食品、薬品、化学品などの製造業		
第3次産業	ものをつくるのではなく「サービスを提供する」仕事。「ものを運ぶ」、「ものを売る」、「ものを貸す」、「家を建てる」、「土地や家を売る」、「土地や家を貸す」、「情報や知識を売る」、「お金を融通する」、「他の産業を補助する」などの仕事。	運送業・輸送業	鉄道、航空、宅配業者など
		卸売業(商社)	総合商社、専門商社など
		小売業	スーパー、コンビニなど
		外食	ファーストフードなど
		建設業・不動産業	建設業、不動産仲介業など
		情報・教育産業	マスコミ、ソフト開発、塾など
		金融業	銀行、証券、保険など
		各種国家資格	弁護士、医師、看護師など
		公務員	国家公務員、地方公務員など
その他	福祉、人材派遣業など <sup>9</sup>		

# 社会の理解（職種）

- どんな「仕事の役割」（役職・職種）があるか？



# 自己の興味・能力の分析

- 興味(問題意識)
  - 知的好奇心(興味)、問題意識
  - そのきっかけとなる具体的事実の探索
- 能力(適性)
  - 研究を進める上での優位点
    - 性格的要素(主体性、協調性、リーダーシップなど)
    - 知識・技術的要素(語学力、数理的発想など)

# 志望理由書におけるLogic

- 評価基準 = **論理性** & **具体性(独創性)**

学びたいこと(近未来)  
就きたい仕事(遠未来)

【論】

育んできた興味や  
能力(過去・現在)

【理】

具体的な体験・観察

【証拠(エビデンス)】

# 志望理由書の構成 (Trimming)

- 序論: 未来の展望を提示
  - 近未来: 私は、貴学〇〇学部で.....を学びたい。
  - 遠未来: そして、卒業後は.....したい。
- 本論: 展望を抱く過程を説明
  - 過去: 私は.....があり、〇〇に興味を抱いてきた。
  - 現在: 現在も.....しているし、貴学には.....。
- 結論: 未来の展望の確認
  - 近未来: 以上より、私は.....学び.....
  - 遠未来: 卒業後は.....したい。

# 表現段階での注意（ Action ）

- 正しい表現・表記で
- 提出期限をチェック
- 筆記用具の指定をチェック
- 様式なども再チェック
- 郵送のみか？持参も可能か？

# AO・推薦入試!ULTRA攻略法

## 志望理由書・自己推薦書対策

### 第2講

## 【近未来のデザイン】

Career Development Adviser  
(厚生労働省指定キャリア・コンサルタント)

クロイワ 正一

# 志望理由書対策

- 志望理由書、自己推薦書に盛り込む内容
  - 将来(大学卒業後)の夢.....遠未来
  - 大学で学びたいこと.....近未来
  - なぜ夢を抱いたのか、その理由.....過去・現在
- 「志望理由書」と「自己推薦書」の違い
  - 将来〇〇するために大学で〇〇を学びたい。なぜなら.....(志望理由書)
  - 私は、将来〇〇するために大学で〇〇を学びたいと考えている。なぜなら.....。それゆえ、貴学に自己自身を推薦したい(自己推薦書)

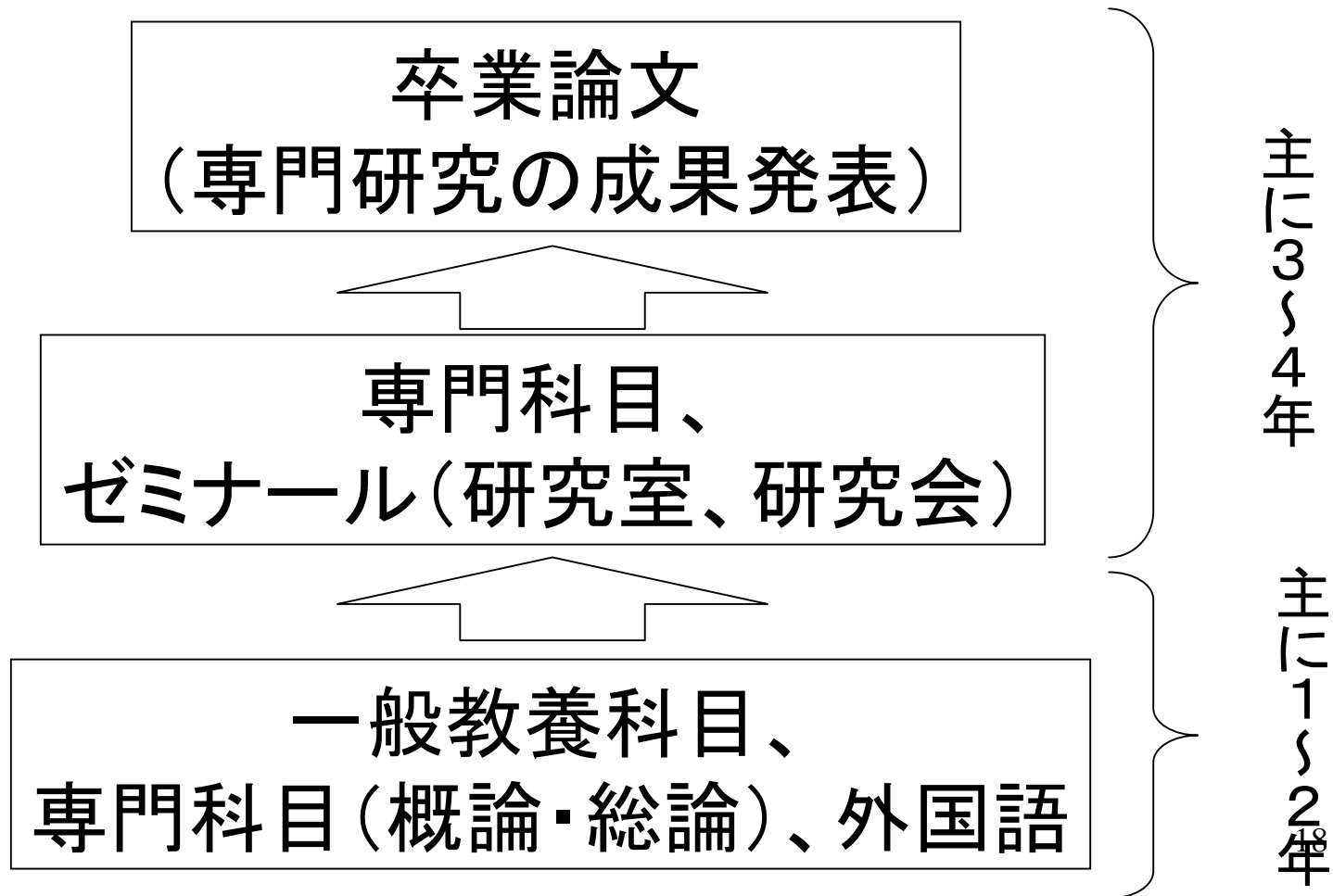


# 近未来(大学での学び)の探索

- 大学で学べることをよく調べよう!
  - パンフレット    ホームページ
  - 会場イベント    オープンキャンパス
- 大学での学びをデザインしよう!
  - 夢を実現するために自分の足りないものは?
  - 足りない知識、技術をどう獲得するか?
  - 一般教養は? 専門科目は? ゼミは?

# 「大学での学び」の構造

- 最終的には卒業論文(学士論文)を書くために!



# 近未来をどうデザインするか？

- 経済学部で開発経済学を学びたい人
  - 「途上国の経済的自立を研究する開発経済学を学びたい。あわせて経済学部の必修科目に加え、途上国の文化を知るために比較文化論や外国語も積極的に履修し……」
- 文学部で英語を学びたい人
  - 「第一に、現代英語の口頭表現を学びたい。それだけでなく、英語の語源を学ぶためにも、古典研究にも取り組み……」
- 生命環境学部で環境保全を学びたい人
  - 「川の生態系について研究したい。そのため、パンフレットにあった生態学や水棲生物論はぜひ履修したい。加えて、汚染物質を分子的に知るため、有機化学なども履修し……」
- 看護学部で看護学を学びたい人
  - 「国家試験に合格するための講座以外にも、患者さまとのコミュニケーションを考え、他学部の科目も聴講し、教養を磨き<sup>19</sup>……」

# 近未来のデザイン

- 主に専攻したいジャンル
- 補助的に専攻したいジャンル
- 専門外で学んでおきたいこと

# AO・推薦入試!ULTRA攻略法

## 志望理由書・自己推薦書対策

### 第3講

## 【遠未来のデザイン】

Career Development Adviser

(厚生労働省指定キャリア・コンサルタント)

クロイワ 正一

# 志望理由書に盛り込む内容

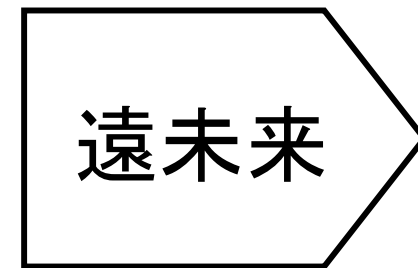
- 志望理由書には人生設計を盛り込む
  - 将来(大学卒業後)の夢.....遠未来
  - 大学で学びたいこと.....近未来
  - なぜ夢を抱いたのか、その理由.....過去・現在



問題意識・興味



学びたいこと



就きたい仕事

# 遠未来（大学卒業後）の設計

- 夢を実現できる仕事を調べよう！
  - 「職業事典」などの活用……
  - 観察
    - 周辺社会、社会全般……
- 卒業生の進路を調べよう！
  - 調べる
    - パンフレット や ホームページ ……
  - 尋ねる
    - 会場イベント や オープンキャンパス ……

# 遠未来をどうデザインするか？

- 経済学部で開発経済学を学んだ後
  - 「開発途上国の経済的自立を促すフェアトレードという輸入手段があると知ったので、それを行う貿易商社や……」
- 文学部で英語を学んだ後
  - 「英語が好きな教科になるように支援できる教師になりたい。中高の英語教師が念頭にあるが……」
- 生命環境学部で環境保全を学んだ後
  - 「水質保全に貢献できる仕事に就きたい。また、さらに研究を深めるため、大学院へと進学し……」
- 看護学部で看護学を学んだ後
  - 「地元の病院に就職して、地域医療の一端を担いたい。とくに今後、在宅医療の需要が高まるから……」



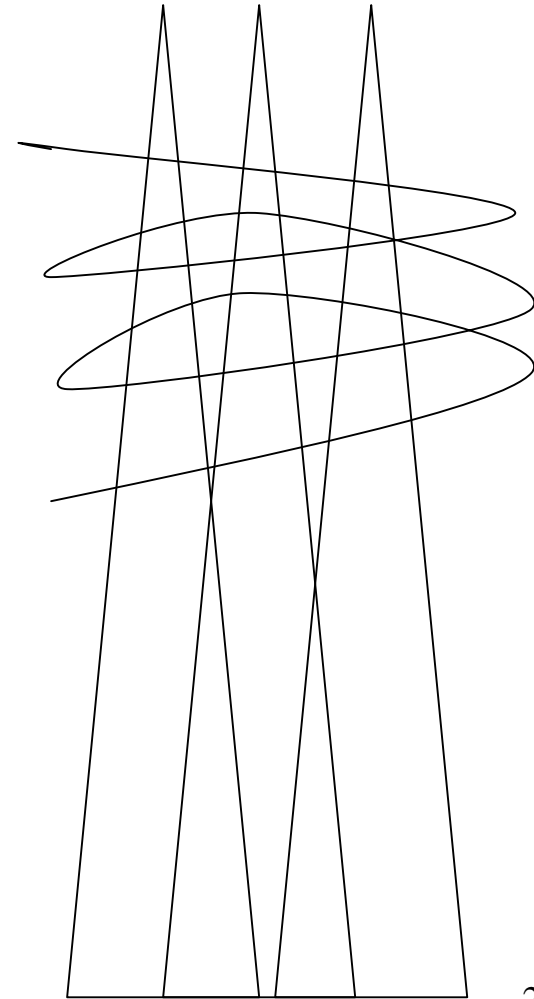
# 21世紀の日本（成熟社会）

## •情報化・グローバル化

IT（情報技術）によって地球規模で瞬時に情報交流ができる現在、地球が一つの会社になったようなものだ。そこでは、いろいろな地域が役割分担（分業）するようになる。

## •高度化・専門化・複雑化・多様化

人件費と土地代が世界一クラスの日本で単純労働を行っていたら食べていけない（価格競争で負けるから）。それゆえ、他の国ではできない高度な製品やサービスをつくる必要がある。そして、それらを果たす専門家がたくさんチームを組めば、他に比類ないものができていく。高度な専門技術を組み合わせると、いろいろな複雑な商品、しくみができあがる。



# 遠未来のデザイン

- 大学で学んだことを生かして
  - どんな業種(産業)で働きたいか?
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  - どんな職種()として働きたいか?

# AO・推薦入試!ULTRA攻略法

## 志望理由書・自己推薦書対策

### 第4講

## 【現在・過去の再デザイン】

Career Development Adviser

(厚生労働省指定キャリア・コンサルタント)

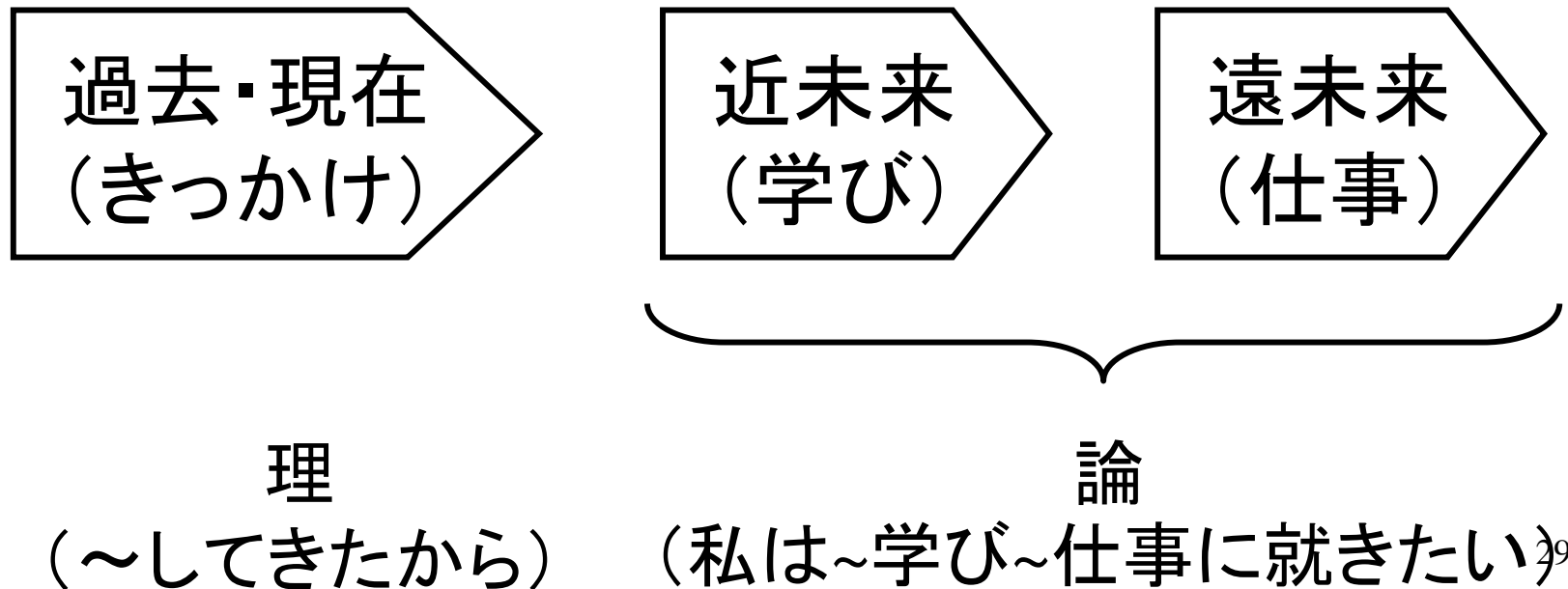
クロイワ 正一

# 実践小論文講座(志望理由書編)

## 第4回 過去・現在の再デザイン

# 志望理由書に盛り込む要素

- 未来への展望とその裏づけとなる実績
  - 大学卒業後の展望(仕事).....遠未来
  - 大学生活での展望(学び).....近未来
  - 未来展望を抱いたきっかけ.....過去・現在





# 過去・現在の再デザイン(ネタづくり)

- アレコレ探索してもネタがない場合は.....
  - これからネタを仕込む!
    - 志望理由書提出日を「現在」と設定すれば.....
    - それまでは.....すべて「過去」になる!

今日 ・ 明日 ..... 1ヵ月後 ..... 提出日(現在)

ここまでは「過去」

- だから今(明日には過去)から既成事実をつくる!
  - 情報収集(本を読み、webで調べ、知識を習得.....)
  - 体験創出(体験機会を探索し、エピソードをつくる...)

# 過去・現在をどう再デザインするか？

- 経済学部で開発経済学を学びたい人
  - 「インドを舞台としたアカデミー賞映画を見て途上国の貧富の差に問題意識を持ち、webで……」
- 文学部で英語を学びたい人
  - 「駅など、公共施設で困っている外国人には積極的に“May I help you?”などと話しかけたが通じず……」
- 生命環境学部で環境保全を学びたい人
  - 「私たちが分別して捨てているゴミが、実際にはどう処理されているのかを追跡調査したら、なんと……」
- 看護学部で看護学を学びたい人
  - 「一日看護体験を通じ、なんの技術もない私に…<sub>32</sub>…」



# AO・推薦入試!ULTRA攻略法

## 志望理由書・自己推薦書対策

### 第5講

## 【志望理由書の構成】

Career Development Adviser

(厚生労働省指定キャリア・コンサルタント)

クロイワ 正一

# 志望理由書作成過程 ( ULTRA )

- Understand (理解)
  - 大学での学び、将来の仕事、自己を理解
- Logic (論理)
  - 論 (将来展望) と理 (裏づけ) を構築
- Trimming (整理)
  - 指示された or 読みやすい構成へと整理
- Action (表現)
  - 指定字数・書式に従って正確に表記・表現

# 「指示」のある場合は従う

- 志望理由書・自己推薦書の構成について
  - 盛り込む内容に指示があったり、書く場所が指定されていたりするときには、その指示、指定に従う

(例1)

「志望理由書には、以下の3つの要素について所定の用紙の範囲内で具体的にまとめなさい。

- ①本学で何をどう学びたいか
- ②学んだことを本学卒業後どのように生かしたいか
- ③それらの将来展望を抱いた経緯はどのようなものか」

(例2)

「所定の用紙(次スライド)の記入欄に、指定された項目について文章でまとめなさい……」

本学部で学びたいことはどのようなことですか。募集要項を参照しながら、以下のスペース内に具体的にまとめなさい。

本学を卒業した後、学んだことをどのように生かして社会貢献していきたいですか。以下のスペース内に具体的にまとめなさい。

# 「指示」なき場合は小論文式

- 構成についての具体的な指示がない場合.....

⇒ 「序論・本論・結論」のパターンで!

– 序論: 未来の展望を提示

(注意を喚起する導入をいれてもいい)

- 近未来: 私は、貴学〇〇学部で.....を学びたい。
- 遠未来: そして、卒業後は.....したい。

– 本論: 将来展望を描いてきた過程を説明

- 現在: 現在.....問題意識、興味、能力を持っている。
- 過去: 具体的なきっかけは.....がある(証拠)。

– 結論: 未来の展望の確認

- 近未来: 以上より、私は.....学び.....
- 遠未来: 卒業後は.....したい。

(期待感を抱かせる結びを入れてもいい)

# 表現例①

- 教育学部社会教育科合格者の例

中学・高校での暗記中心の歴史教育だけでは「生きる知恵」は学べない。歴史と積極的に向き合い「記されなかった歴史」を探らない限り、人類の足跡が示す現代的意義を学ぶことはできない(注意喚起)。私はそう考え、貴大学教育学部社会教育学科で、歴史を、そして歴史教育を学びたい。さらに、歴史を構成する多様な要因の理解に役立つ政治学や経済学も併せて学びたい(近未来)。そして、将来は戦争と平和の意義について主体的に意見を持てる人々を育てるべく、中学や高校の社会科教師になりたい(遠未来、以上序論)。

私が冒頭で述べたような歴史観を持つようになったきっかけは、長崎に修学旅行に行った際の被爆経験のある研究者との出会いまでさかのぼる。歴史の教科書や資料集で原爆投下を雲の上から移した写真を見ることはできても、

# 表現例①つづき

プルトニウム爆弾が爆発した下の地獄は伝えることはできない。それ以来、文化祭に戦争経験者を呼んだり、高校で戦争映画を上映するなど、学校での歴史教育では知りえない戦争の無残さを知る機会を学友たちと共有した(過去)。そして、知識の断片を無機的に暗記する歴史学習への疑問が芽生えた。また、冷静に考えれば、歴史とは連続する現実を記述者がその価値観、主観で切り取った偏りのある「情報」に過ぎない。それゆえ、多様な情報源への取材が必要だと考えるようになった(現在、以上本論)。

私はこうした志で、歴史と歴史教育について多角的に学び(近未来)、将来は歴史教育に従事したい(遠未来)。そして、多様な視点を得るため、貴学の留学制度を積極的に活用し、教官の指導も仰ぎ、海外の歴史資料なども収集してきたい(期待感、結論)。

# 表現例②

- 商学部合格者の例

グローバル化社会のなかで、私は国境を超えたグローバルな活躍がしたい(遠未来)。金融の世界こそ、私のそうした望みを満たすフィールドだ。そして、将来、グローバルな金融取引の場で活躍できるよう、そこで求められるさまざまな能力を身につけるために、貴学商学部を志望した(近未来、以上序論)。

私は、父が銀行で国際為替の仕事に従事していることもあり、父との会話に出てくる多種多様な経済の話題に、自然と関心を覚えるようになった。「サブプライムローンってなに」「なぜ日本にも影響があるの」「投機マネーがなぜアフリカの飢餓と関係するの」といった素朴な質問に父は丁寧に答えてくれ、私の知的好奇心を刺激してくれた(過去)。また、高校の世界史の授業で、産業革命、帝国主義体制下での経済的膨張政策や植民地拡大政策など、世界市場が形成



## 表現例②つづき

された歴史を学び、経済こそ格差をつくりもし、その解消に役立ちもすることを知った。とくに、市場のグローバル化が貧富の差の拡大などの問題も招いていることには問題意識を持った(過去)。金融危機の問題など、市場のグローバル化は、今後も新たな問題を提起するはずだ。国際会議でも、投機マネーが食材やエネルギーに向くことを懸念する声も大きい。それゆえ、金融システムから格差の是正ができないか、検討してみたい。さらに、グローバルなフィールドで活躍するには、英語力が不可欠だ。私は、中学から英検に挑戦し、現在では2級まで取得している。貴学独自の外国語カリキュラムには、とても興味を抱いている(現在、以上本論)。

以上の理由で、貴学部を志望した(近未来)。卒業後は、国を超えて活躍できる企業に就職し(遠未来)、同窓生の輪を世界に広げたい(期待感、以上結論)。

# 表現例③

- 政治経済学部合格者の例

マスメディアの圧力による政・官への働き掛けが、社会を変える。私は、幼少期から続けている取材の現場で、そのことを実感した(注意喚起)。そして将来は、報道記者として、メディアのアジェンダセッティング機能を活かし、政治への関心を高めるような報道を展開し、行政を監視したい(遠未来)。そのため、貴学政治経済学部に進学し、現代世論と政治報道の関係について学びたい(近未来、以上序論)。

こう考えるようになったきっかけは、読売新聞社のジュニア記者として、高名なジャーナリスト・桜井良子さんにインタビュー取材をしたことだ。薬害エイズ訴訟の話聞き、事件がジャーナリストによって報道されない限り、国民が行政の動きを熟知することは難しい。と感じた。また、報道による世論の喚起により、一被害者の力が行政に影響を与える

## 表現例③つづき

ことも知った。そして、小学生であった私の記事に対しても、訴訟団体や読者から反響が届き、アジェンダセッターとしてジャーナリストの役割の重要性を肌で感じた(過去)。現在、高度情報化、社会の複雑化に伴い、報道にもさまざまな革新がもたらされている。とくにインターネットを活用したニュース報道は、今後も大きな革新をもたらすだろう。こうした大資本や政治的圧力の影響を回避できるウェブを最大限に活用したアジェンダセッティングの可能性にも興味を抱いている。国民への説明責任を欠いた政策に歯止めをかけ、主体的政治参加も促したい(現在、以上本論)。

以上の理由から、ジャーナリストになるため貴学部での学びを志した(遠未来+近未来)。マスメディアに関する新しい研究成果などを吸収するため、卒業後も学び舎や恩師の下を訪れたい(期待感、結論)。

# 表現例④

- 政治経済学部合格者の例

21世紀は、国民国家の枠を超えた新しい世界秩序を探る必要がある(注意喚起)。それゆえ、私は、貴学政治経済学部でグローバル・ガバナンス、国際政治の構成原理を研究したい(近未来)。そして、大学院にも進学し、将来は国際公務員やNGOの職員として、グローバルな発言力、影響力を示せる人物になりたい(遠未来、以上序論)。

こうした将来展望を描いた背景には、小学生のとき数年間オランダで生活した経験がある。私は、この体験で、幼いながらも自らの世界観を拡張させることができた。つまり、この地球には多種多様な文化があり、それは国籍等で単純に分類できるようなものではない。しかし、同じ地球市民として共生するには、異質な他者への寛容の姿勢が必要である。私は、貴学も謳っているそうしたコスモポリタニズムに根ざした共生を実現することこそ、ライフワークにしようと決意した

## 表現例④つづき

(過去)。また、各種メディアの報道を見ればわかるが、現在、国家だけでは解決が不可能な地球規模の問題が噴出している。例えば、民族紛争、人口爆発、環境問題、南北・南南問題、民主主義の空洞化などだ。こうした現状を知るにつけ、日々問題意識が喚起されている。国家、民族、宗教の枠を超え、地球共同体という一つの立場でこのような問題を解決する可能性を模索したいのである(現在、以上本論)。

学部卒業後は、大学院にも進み知識を深め、国際機関やNGOの職員など、グローバル・ガバナンスに貢献できる職に就きたい(遠未来)。また、学部在学中に1年間の協定校留学も経験し、将来の職業について具体的に探してみたい(近未来、以上結論)。

# 表現例⑤

- 理工学部合格者の例

環境問題の解決、つまり、化学技術のコントロールは、キリスト教精神に通じるところがある(注意喚起)。クリスチャンである私は「キリスト教の信仰に基づく教育」を建学の精神として掲げる貴学において、環境保全策、とくにオゾン層破壊への対策について学びたい(近未来)。大学卒業後は、研究成果を生かせる場に進みたい(遠未来、以上序論)。

貴学の教育方針には、学力だけでなく「人間形成」「博愛の精神」を養うことにも重点が置かれている。化学研究においても、こうした精神が欠けると、人類に恩恵のみでなく、暴力をもたらすことになってしまう。それゆえ化学者を目指す私は、貴学の建学理念に通ずるものを感じた。オゾン層破壊に興味を抱いたのは、こうした化学の二面性を象徴的に物語る問題だからである。私は、中学の理科

# 表現例⑤つづき

の授業でこの問題について学習して以来、解決策としての科学、とくに化学の可能性について強い興味を抱いてきた(過去)。原因物質フロンは無毒、無臭で、構造も安定しているため、スプレーの噴射薬、冷蔵庫やエアコンの媒介などに広く利用されてきた(恩恵)。しかし有害な紫外線の侵入を防ぐ役割を果たすオゾン層で反応し、層を破壊しオゾンホールをつくってしまう。その結果、皮膚がんや白内障が誘発され、遺伝子の損傷、突然変異をも引き起こす有害紫外線の地表への侵入を許してしまった(暴力)。科学が持つ功罪両面を如実に表している(現在、以上本論)。

以上の問題意識から、私は貴学部応用化学科に進み、大気中のフロン回収やオゾンホールの修復に関して研究したい(近未来)。そして、卒業後は、そうした研究成果を生かせる場に身を置きたい(遠未来、以上結論)。

# 表現例⑥

- 理工学部合格者の例

グローバル化の進展に伴い、飛行機の発着便数はますます増えている。空の交通安全を守る必要性はますます高まっている(注意喚起)。私は、航空管制官になり、NASAで仕事をしたいという夢を持っているが(遠未来)、その専門領域を学ぶために、最高、最適と考えられる貴学部電機電子情報工学科を志望した(近未来、以上序論)。

私がこうした夢を描くようになったのは、幼少期から頻繁に飛行機に乗る機会に恵まれたからだ。その都度、飛行機が飛ぶ仕組みを不思議に思い、その謎の解明に興味を持ってきた。さらに、空の交通について学ぶうちに、パイロットに地上からの的確な指示を出し、世界の空の交通整備を任されている航空管制官の仕事を知るようになった。グローバル化により、ますます高度専門職として航空管制官の役割は重要になってきた(現在)。実際に交通管制塔では、



## 表現例⑤ つづき

どのような仕事をしているのか、高校に入って取材したことがある。そのとき、航空管制官には、冷静な判断力、精神的なタフさ、協調性などが要求されると聞いた。私は、小学生のときから、地域のランニングチームに所属しており、長距離走者として毎日練習を重ね、さまざまな大会に参加してきた。また、こうして経験を経て、不屈の精神力、挑戦意欲を養った。また、スポーツで身につけたこうした精神的素養は、航空管制官になっても生かせると考える(過去、以上本論)。

こうした思いから、私は航空管制官になるという将来展望を描き、将来はNASAで勤務し、空の平和を守りたい(遠未来)。その最適かつ最短のコースとして、貴学部で学びたい(近未来、結論)。

# 表現例⑦

- 医療衛生学部合格者の例

私は、グローバル化に対応できる理学療法士になりたい(遠未来)。そして、その夢を実現するための環境が最も整っているため、貴学医療衛生学部を志望した(近未来、序論)。

では、なぜ私は理学療法の道を目指したのか。それは、私が育ってきた環境の影響が大きく影響している。私は、幼いころから医療現場で働く父の姿を見ていたため、医療に自然と関心を抱くようになった。そして、父の勤務先で理学療法士と出会い、その職種に最も興味を持った。その理由は、スキー、テニスなどを趣味とする私は、理学療法士がスポーツ感覚で行う医療行為に、自分との接点を見出したからだ(過去)。また、この仕事には確かな需要もある。ますます進展する高齢化に向け、寝たきりや認知症を防ぐ意味でも、機能維持、機能回復の医療が求め

# 表現例⑦つづき

られ、必然的に理学療法士の必要性が高まるからだ。さらに、高齢者の方々と触れ合うことは、私にとってもコミュニケーション能力等を伸ばし、人間として成長するよい機会となる。また、医療現場におけるグローバル化に伴い、海外との情報交換や、外国人患者との接触を通じて、国際感覚を磨く機会にもなる(現在、本論)。

貴学には、そうしたコミュニケーション能力、国際感覚を養うカリキュラムもある。それゆえ、ここで学び、専門に限定せず、医学、心理学、英語など、主体的に自分を磨き、従来の理学療法士の枠に収まらぬような器を育て(近未来)、専門職として活躍したい(遠未来、以上結論)。

# 表現例⑧

- 薬学部合格者の例

21世紀こそ、医療の中で薬学が新たな意義を持つ（注意喚起）。私は、そう考え、薬学研究の新しい可能性を拓くべく、貴学薬学部を志望した（近未来）。将来は大学院にも進み、新薬開発に寄与する基礎研究に従事したい（遠未来、序論）。

では、なぜ私は、こうした将来展望を描くようになったのか。第一に、私には、幼少期から皮膚の病があったからだ。そして、薬剤師である母の懸命な努力で、その症状を克服した。母は、短期的な治療効果はあるが、副作用も強いステロイドには頼らず、漢方による長期的な体質改善を私に施した。その結果、ついに症状は消えた。こうした喜びを同じように病で悩む人にも味わってほしい。そうした想いが薬学研究に対する意欲へとつながった。

## 表現例⑧つづき

第二に、そうした意欲を抱くとともに、わたしは、薬学研究者を目指すべく、化学や生物学の研究にも早くから取り組んできた。中学生のとき、地域の海岸の生物採取を続けていたところ、貝の突然変異体が見つかった。それを理科の先生に見せ、先生が恩師である大学の研究者にも提示したところ、環境汚染物質が地元の海洋生物にも影響を与えていることがわかった。私の独自の調査結果は、その研究者の論文にも掲載された。こうした問題意識とフィールドワークは、薬学研究にも活かせると考える(過去)。

第三に、医学、薬学をめぐる時事問題にも深く関心を持ってきた。いま、医療に求められる要素として、患者自身のQOLの向上が指摘されるが、在宅で処方できる画期的な薬の開発こそ、QOLを向上させる助けになるに違いない。病院や診療所に通わずとも、自宅で有効な薬を服用するだけで病が治癒するのなら、自宅で日常生活を送りながらも治療を受けら<sub>3</sub>

# 表現例⑧ つづき

れるからだ。20世紀は、西洋医学の導入により、さまざまな感染症が克服され、平均寿命も著しく延びてきた。ただし、QOLの側面から見ると副作用や長い入院生活など、いくつもの問題を残した。こうした問題を克服すべく、私が処方を受けたような東洋医学の視点、すなわち長期的な根治療法も研究される必要がある。貴学部の公式サイトでは「21世紀は全人医療の時代である」といった文言が提示されていた。私もQOLを考慮した医療がまさに全人医療であると考え（現在、以上本論）。

以上のことから、私は貴学部にて学び（近未来）、薬学研究の立場から、全人医療の構築に貢献できる人材になりたい（遠未来、結論）。

# 表現例⑨

- 環境情報学部合格者の例

環境問題を解決するには、環境問題に取り組まなければ不利益となる社会構造をつくる必要がある(注意喚起)。私は、こうした発想のもと、貴大学環境情報学部にて、望ましい環境経営の形を探るための、シミュレーションソフト「将来予測システム」を開発し(近未来)、在学中も卒業後もそのシステムをさまざまな組織に広めていきたい(遠未来、以上序論)。

私は、高校2年から企業の環境対策に興味を持ち始め、各社の環境配慮の意識について質問票による調査をしてきた。そこで、複雑な計算や多額の投資ができないという理由から、多くの企業が環境を配慮した経営に取り組めないという実態に気づいた(過去)。

# 表現例⑨ つづき

この現状は是正しなければならない。なぜなら地球環境が破壊され続けてしまえば、企業も、消費者やその他のステークホルダーも存続が不可能になってしまうからだ。ところが、破壊の現実はややかに進行しているため、そんな終末の具体的なイメージなど誰も描けない。そこで、私は考えた。地球環境の動向を逐一集計し、その未来像を出力できる「将来予測システム」を開発すれば、多くの人々の問題意識を喚起できると。これは、コンピュータによって創られた仮想社会の中で、ある環境経営が世論や環境にどのような影響を及ぼすのかをシミュレートするシステムである。私は、このシステムを開発することで、環境を配慮した経営に対して資金や技術に余裕のない企業でも積極的に取り組んでいけるものにしていきたい(現在)。



# 表現例⑨ つづき

このシステムを実現するためには、現在の私の情報収集能力に加え、貴学部での学びが必要不可欠である。例えば、世論を把握するための人間行動論や社会動態論を、また、汚染物質の影響を知るための化学、地球環境論、ソフトづくりのためにプログラミング言語論や認知科学、人工知能論も積極的に学ぶ必要がある。しかし、ある個人や研究グループが決められた制約内でこのシステムを開発することは難しい。そこで私は、このシステムのプログラム情報を積極的に外部へと公開していきたい。つまり、Linuxのようにオープン・リソースな環境で開発するのである。こうして、誰もがシステムを改良できるような体制を築けば、研究費の削減にもつながり、なおかつ常に世界の誰かがシステムを更新しているという連続的な進化を望むこともできる。

# 表現例⑨ つづき

また、企業の環境経営評価を行っている投資会社などと情報を共有すれば、信頼性の高いデータを利用することができる。実際に、環境保全意識の高い欧米の投資家たちは、こうした会社のデータを基に資金を運用し、「環境保全に貢献している企業が業績を上げれば、自らにも利益が跳ね返ってくる」といったしくみを実践しているという(現在、以上本論)。

このように、私は貴学部のリソースを最大限に活用し、システム開発に取り組み、情報発信し続けていきたい。そして、同じ志を持つ人々の英知をここに結集させ、地球規模のネットワークづくりをしたい(近未来)。そして、卒業後も環境経営シミュレーションの有用性を世に問い続けていきたい(遠未来、以上結論)。

# 表現例⑩

- 総合政策学部合格者の例

政治の担い手は、国民自身であるべきである（注意喚起）。私は、こうした理想に反する「政党による密室政治」を打破するための、ITを手段として用いた新しい政治形態について研究していきたい。そのために、現代の実践的な政治論や政策過程論を学べるほか、行政の電子化を積極的に支援している貴学総合政策学部で学習することを必須と考え、入学を強く志望する（近未来）。そして、将来的には政策決定における国民の代弁者としての国会議員となり、電子民主主義の実現を推進できるポストにつきたい（遠未来、以上序論）。

密室政治を打破したいと思ったきっかけは自らの経験を通してだ。私は、高校時代、生徒と共に運営することをモットーとして2年間に渡り生徒会長を務めた。その活動の中で、

## 表現例⑩ つづき

頻繁にアンケートをとったり、自らの公約で設置した学校の公式ホームページで直接生徒と議論を交わしたりして、全体の意見を察するよう心がけた。その日々の活動が生徒と私たちの活動とを近づけ、初めて試みたベルマーク活動では大きな協力を得た。協力が生まれたのは、縮められた距離であろう。「自分たちの学校である」という当事者意識が生徒間に芽生えてきたのである(過去)。

こうしたことは現代政治にも当てはまる。投票率の低さなどを根拠として「日本国民は政治に無関心だ」と指摘されることもあるが、この指摘をそのまま受け入れることはできない。政権担当政党の派閥間闘争による首相おろしや、衆議院を圧倒的多数の賛成で通過した法案とマスメディアによる世論調査との格差などを見ると、今の政治は国民の声が反映されているとはお世辞にも言えない。国民が政治に関心がないというよりも、政治活動と国民意識とが乖離してしまっているのだ。

# 表現例⑩つづき

こうしたギャップを解消するために、私は、民主主義の原点に立ち返り、国民による政治を実現させるため、新しい方向性を見出せる政治家になりたい。そのプロセスとして、在学中から私の考えに近い行政関係者のアドバイザーースタッフなどとなり、その経験と実績を活かして、将来的には国会議員になるのが目標だ。

民意をダイレクトに反映させる政治形態として法案や立法に直接国民の意思を反映させるeデモクラシー(電子民主主義)があるが、私はこの形態の日本における浸透を模索したい。ただし、一方で、ITの使用はセキュリティやデジタルデバイドなどの問題をはらむ。しかし、前者の問題も現在様々な電子認証基盤を利用して対抗策を実現しているし、後者も操作の簡素化や公的設備の普及でカバーできるだろう。そうした対抗策を講ずるにも、貴学部の環境は最適だ。また、貴学のネットワークをフル活用して、想定しうるリスクを徹底的に分析したい。

# 表現例⑩つづき

また、技術的な問題だけでなく、立法プロセスについての専門知識とケース研究も、パブリックポリシー・クラスターの中の「政策立案論」や「政治参加論」などの講義で理解を深めたい。さらに、「メディアリテラシー」や「ネットワークコミュニティ」の講義にも積極的に参加し、ネットワークガバナンスに関する知見を深めたい。さらに、今後ますます社会システムが高度になるにつれて、政治家は広い分野において、より専門的な見識が要求される。より実践的で、多面的な視点を養える貴学部のスタイルや学習内容は、とても魅力的である(現在、以上本論)。

以上のように、私は貴学において民意に沿った国民参加の政治を実現させる可能性を多角的に探りたい(近未来)。そして、その研究経験と実績を活かして、将来的には政党による密室政治の打破を実現し、民意を反映できる政治のしくみづくりができる国会議員になりたい(遠未来)。